

外面修理材は、応急修理材です

応急修理材は、損傷を一時的に補修するための修理材です。「早期に新しいタイヤへ交換すること」、「早期に内面修理の実施を行うこと」が前提の修理材です。

使用上の注意

タイヤ修理作業は、JATMAの「自動車用タイヤの選定・使用・整備基準」に従い行って下さい。修理禁止の損傷範囲、修理可能な損傷範囲を順守して下さい。

穴のあいた箇所ゴムや繊維等に接着剤をつけて塞ぐ応急修理タイヤは、走行中の遠心力によりゴム栓が抜け落ちることがあります。このような修理タイヤは、高速走行を避けてください。長期・長時間の使用を避け、早めに新品タイヤへの交換、又は内面修理を行って下さい。

タイヤ修理材はゴム製品ですので、経時劣化します。ゴム製品の特性上、品質保証期間・期限の限定ができません。製品の劣化（硬化・乾燥・粘着性の低下・表面の亀裂など）が認められる場合、御使用は止めて下さい。経時劣化の要因は、直射日光、高温、熱、オゾン、接触材料（ガソリン、軽油など）などが挙げられます。

2012年製造のプラグ

既に、経時劣化しています。

外観で判断せず、使用しないで下さい。



2015年製造のプラグ

表面に、硬化・乾燥・粘着性の低下が見られます。

経時劣化していますので、使用しないで下さい。

